

第57号 C-STEP ニュース

シーステップ 人間を主役にした人材雇用開発



コロナ禍における就職困難者

一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 常務理事 中谷 佳穂

■ ついに第6波が…

本稿執筆時点(2月1日)において、「まん延防止等重点措置」が大阪府をはじめ34都道府県に発令されています。大阪での感染者数は連日1万人を超え、最高数値を更新する未曾有の事態となっており、本誌がお手元に届く頃には収束していることを願いつつ執筆しています。国内で新型コロナウイルス感染症感染者が初めて確認されたのが、2020年1月15日。早2年が過ぎ、度重なる「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発令されましたが、未だ出口が見えません。厚労省や総務省による各種調査資料によりますと、コロナ禍によって莫大な打撃を受けたのは、非正規雇用者、フリーランスなどの不安定就労者であり、低所得世帯の方々です。そして非正規雇用者の多くは女性や若年者、障がい者です。個々の状況、課題を確認しておきます。

■ 女性と新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったのは、非正規雇用の女性です。今回のコロナショックでは、主に宿泊、飲食など対面サービス業が甚大なダメージを受けていますが、これらの職業分野に女性の非正規雇用者が多いことに加え、小中高等学校や幼稚園、保育所が休校休園となったため「仕事か家庭か」の二者択一を迫られた結果、離職や短時間就労とせざるを得なかった女性が増えたことが各種調査(労働政策研究・研修機構パネル調査他)でも明らかになっています。大阪府では女性の非正規労働者の割合は57.3%(男性22.9%)であり、男性の2.5倍に達しています(総務省労働力調査)。もともと不安定就労が多かった女性に対して、更なるダメージを与えています。失業給付のみならず、失業給付の対象にならない求職者(短時間就労のため雇用保険未加入者など)や大幅に所得が減少した方々には、補完的所得補償など新たな施策が急務です。

■ 若年者と新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症が確認される前年2019年6月、政府は、「就職氷河期世代支援プログラム」を閣議決定しました。その内容は、①支援対象者を100万人と想定し、地域ごとに対象者を把握した上で、具体的な数値目標を立てて3年間で集中的に取り組む、②正規雇用者については、30万人増やすことを目指す、③基礎自治体の協力を得て、必要な人に支援が届く体制を構築する、を主目的にスタートしました。当初は、地方自治体が氷河期世代を対象として新規採用を実施するなど話題となりました。しかし、開始直後にコロナ禍に飲み込まれ、今やその認知度も低迷し、残念ながらもめばいい成果は見られません。むしろ放置

され、忘れ去られた感もあります。加えて、コロナ禍では、資格取得講座の相次ぐ休校や、職場体験実習の休止などによりスキルアップの機会を喪失した若者が増大しました。就職氷河期世代のみならず、新たな就職困難層が形成されつつあります。雇用調整助成金や休業補償給付の特例延長給付(2022年3月末まで)など当面の生活支援策のみならず、住宅確保給付金の要件緩和や総合生活資金給付(生活再建までの間の生活費が必要な方への給付)の創設が求められます。もとより就職氷河期世代や若年者支援は、「3年間に集中的」に取り組んで解決するものではありません。期間を限定することなく、生活保障を基盤とした中長期的な支援策が求められます。

■ 障がい者と新型コロナウイルス感染症

厚労省は、「令和3年度の障害者雇用状況調査」の集計結果を公表(令和3年12月24日)しました。この雇用状況調査によりますと、令和3年6月1日時点での雇用障害者数は59万7,786人(対前年度比3.4%増)と18年連続で過去最高を更新しました。法定雇用率達成企業の割合は、雇用率の引上げ(2.3%)もあり1.6%低下したものの、実雇用率は2.20%(同0.05%増)と増加しています。大阪府においては、民間企業に雇用されている障がい者は5万4,597人(前年度比4.9%増)となり、18年連続して増加したとし、「コロナ禍にあっても障がい者雇用は堅調に推移している」と評価しています。

一方、同じ厚労省の「令和2年度のハローワークを通じた障害者の職業紹介状況資料(令和3年6月25日公表)」によりますと、令和2年度にハローワークを通じた障がい者の就職件数は、89,840件で対前年度比12.9%減となり、12年ぶりに減少しました。就職率も42.4%となり対前年度比で3.8%減少しています。大阪府を見ましても、就職件数は6,917件(12.8%減)、就職率も前年度比1.9%減となりました。厚労省は、「障害者が比較的応募しやすい業種の求人数が減少するとともに、求職者の就職活動が抑制されたことが、就職件数の減少につながったと考えられる。」と評価しています。

この2つのデータギャップについて、一体どちらのデータが正しいのか首を傾げます。障がい者数の集計方式の違い(重度障害者のダブルカウントや短時間労働者の0.5人カウント等)もありますが、一気に雇用状況が改善したとは思えません。「ハローワークを通じた就職件数」が減る一方、民間や支援機関を通じた就職が増えたのでしょうか。あるいは、現有社員に障がい者が急増しているのでしょうか。厚労省に問い合わせましたが、明確な回答はありません(2月1日時点)。新型コロナウイルス感染症が拡大する下、求人数の減少や職種の偏りが顕

著となり、職場体験実習、職場見学会の中止(延期)により、障がい者自身が就職活動をあきらめざるを得なかったケースも数多くありました。肌感覚としては、6/25公表資料が実感に近いと思います。

これまで見てきましたとおり、就職困難者を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻化を増し、コロナ以前からも社会的課題であった「格差拡大」の現実がより鮮明となっています。

■ ポストコロナ、ウィズコロナに向けて

大阪府、(公財)大阪産業局は、府内1万社を対象に調査を実施し、「新型コロナウイルス感染症の影響下における府内企業の実態調査(2021.9.15)」を公表しました。本調査によりますと、『府内企業の約6割で業績が悪化したが、大幅に悪化する層がみられる一方で、維持・向上する層もあり、コロナ禍の影響は一様ではない。』とし、また、『人材不足感が強まるなか、全体的に従業員数は減少しているが、正規雇用では減少幅が少なく増加している業種もある』としています。さらに、コロナ禍後の事業の方向性については、『「既存事業」、「国内事業」につ

いては、5割超の企業が「現状維持」、3割以上が「拡大」する意向を持っている』と報告をまとめています。ならば、今こそ、非正規雇用者を正規雇用に転用するチャンスであり、業績を維持し、拡大をめざしている企業は、女性や若年者、障がい者を積極的に採用するチャンスでもあります。

現在、新型コロナウイルス感染症による離職者や就職困難者を職業訓練や技能訓練を通じて、通信・IT産業、技術者など高生産性分野に労働移動する政策がすすめられています。しかし、就職困難者にとっては、高生産性分野で職を得るのはあまりにもハードルが高く容易ではありません。むしろ、取り残された非正規雇用者、不安定就労者をさらに追い込み、格差が一層広がる結果になっています。一人ひとりの状況に応じた支援策を粘り強く、時には試行錯誤しながら実行していく就労支援が求められています。安定的な人材確保、新規事業の展開、SDGs経営の推進等戦略的な経営に向けて、C-STEP事業のより積極的な活用をぜひご検討ください。

C-STEP事業

2022年度 雇用問題研究会を開催します。(延期後の開催ご案内)

新型コロナウイルスの感染拡大により開催を延期しました「雇用問題研究会」について、延期後の日時・会場が下記のとおり決まりました。今回の研究会では就労を希望する障がいのある方を支援する「就労移行支援事業所」における障がい特性に合った支援の内容や企業との連携事例などについてお話していただけます。ご関心のある皆さまぜひご参加ください!

※当初開催予定日(1/28)に参加のお申込みをいただいていた方々におかれましても、再度お申込みをいただきたくお願い申し上げます。

日 時	2022年5月25日(水) 14:00~16:00
場 所	大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)7Fホール
内 容	わかりやすく解説! 障がいのある方と企業を結ぶ就労移行支援事業 第1部 基調講演「障害者雇用・就労支援施策のトレンドとこれからへの期待」 全国就労移行支援事業所連絡協議会 会長 酒井 大介さん 第2部 就労移行支援事業所からの事例報告 ①社会福祉法人加島友愛会 かしま障害者センターLink ②NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク ③株式会社NICO JAPAN ニコサービス城東センター

参加費	無料
定 員	申込み先着200名 ※開催当日はコロナウイルス感染予防のためマスク着用をお願いします。
申 込 み	申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX(06-6910-6033)にてお申込みください。

※FAX以外でのお申込みをご希望の方はC-STEP Webサイトのお問合せ・ご連絡フォーム(<https://www.c-step.or.jp/contact.html>)から、またはE-mail(csinfo@c-step.or.jp)あてに企業名・団体名/所属部署/お名前/ご連絡先を記載のうえ、お申込みください。

締 切	2022年5月18日(水)
主 催	(一社)おおさか人材雇用開発人権センター(C-STEP)
後 援	大阪府 大阪市 大阪労働局 (公社)関西経済連合会 大阪商工会議所 朝日放送テレビ` MBSテレビ` 関西テレビ放送 テレビ大阪 読売テレビ
協 賛	大阪府就労移行支援事業所連絡会

2022年度 C-STEP通常総会 開催のお知らせ

日 時	2022年6月20日(月) 14:00~16:00
場 所	大阪市立東成区民センター 大ホール
内 容	第15期 評価・顕彰 感謝状贈呈式 2021年度事業報告・2022年度事業計画提案など

人材スキルアップ定期コース 2月期(障がいのある方対象)を開催しました!

働きたいけれどもなかなか就職に結びつかないという方を対象に「人材スキルアップ定期コース」を開催しています。2月期の人材スキルアップ定期コースは、障がいのある方を対象に、4日間の座学と1～2週間の実習を組み合わせました。2月1日(火)～2月21日(月)の日程で13名の方が参加されました。



【プログラム】

- | | | | |
|--------------|---|----|---|
| 2/1(火) 午前 | オリエンテーション(自己紹介・目標発表) | 午後 | 「お金の使い方を考える講座」(講師:C-STEP) |
| 2/2(水) 午前 | 「履歴書の書き方・面接の受け方」を学ぶ
(講師:大阪労働局) | 午後 | 企業からのアドバイス「求められる人物像について」
(講師:象印マホービン株式会社)、実習先企業の方と面談 |
| 2/3(木) 午前 | 実習先企業へ実際に行ってみる(経路確認) | 午後 | ビジネスマナー(身だしなみ、あいさつ、表情)(講師:A'ワーク創造館) |
| 2/4(金) 午前・午後 | ビジネスマナー(言葉使い、電話・来訪者対応、名刺交換など仕事に役立つビジネスマナーを実践的に学ぶ) | | |

2/7(月)～2/18(金) 職場体験実習

4日間の座学を終え、いよいよ職場体験実習です!不安半分、期待半分…どんな仕事ができるか、どれくらいできるか、どうすれば上手くいくかなど、みなさん、思いはさまざまにチャレンジしました!



「調理・厨房」のしごと体験!

調理をする仕事もあれば、食器等洗浄や盛付け補助、ホールの仕事もあります。美味しいものでお客様をおもてなし!(^^)

「事務系」のしごと体験!

商品の入出荷伝票を作成&チェック!事務ってパソコンだけじゃなく、電話応対もあるんだな～内容はさまざまです。



「清掃」のしごと体験!

きれいにするのが好き、体を動かしてこつこつする仕事に興味がある。いつもキレイをありがとう!



「配送・倉庫系」のしごと体験!

商品を台車に乗せてお店へ届けます。体を動かすお仕事。安全第一!体も鍛えられるかも!



「介護・福祉系」のしごと体験!

人と関わる仕事がしたい、サポートが必要な方の支援をしたい。この日は仕事の様子を見学することから始めました!

＜受講生の感想より＞

2/21(月) 修了式!

座学や実習を振り返り感想を発表・報告しました。最後に修了証を授与。～お疲れ様でした!～

- ・仕事をすることに当たって知らないことが多かった。ビジネスマナーはいい勉強になりました。
- ・働くことの意義やお給料の使い方についてシミュレーションできたのがよかったです。生活リズムを仕事メインに置きかえていきたいです。
- ・職場実習では業務内容や通勤距離など、できることかどうか現時点での状態が分かりました。
- ・店に商品が届くまでこんなことをしていたとは知らなかったのととても勉強になりました。仕事を見ていてカッコいいと思いました。楽しく実習ができ社会人に一歩進めた気がします。
- ・職場の一員として働いてみて、やはりおもしろいなと感じました。自分の足りない所、成長した所など発見できてよかったです。

ご協力いただきました会員企業の皆様ありがとうございました。

2022年度 人材スキルアップ定期コース 年間スケジュール

7月期 企業見学コース	7/25(月)～7/29(金)	座学4日+企業見学(2社)1日
10月期 職場実習コース	10/11(火)～10/31(月)	座学4日+職場実習 1～2週間
2月期 障がいのある方対象の職場実習コース	1/31(火)～2/20(月)	座学4日+職場実習 1～2週間

※座学は、ビジネスマナー、企業の方からのアドバイス、履歴書・面接ポイント、お金の使い方等

※参加を希望される方は、お住まいの市町村の「地域就労支援センター」にご相談ください(参加無料、交通費支給、保険加入)

＜会員企業のみなさまへ＞

毎年度末に上記「人材スキルアップ定期コース」の見学・実習受け入れ申込書の他、「求人(雇用)情報カード」、「支援学校等の生徒の職場実習受け入れエントリーカード」を送付させていただいております。受け入れを検討していただける企業の方は、C-STEP(FAX:06-6910-6033)までお送りください。個別にご相談させていただきます。

また、「会社概要届(表面)・第15期会員貢献度評価表(裏面)」を合わせて送付いたしますので、ご記入のうえご返送ください。ご協力をお願いいたします。事業内容や利用方法・ご協力方法についてご質問・ご相談等ございましたら、C-STEP事務局までお気軽にお問い合わせください。TEL:06-6940-6600

～企業の取り組み紹介～

■会社概要

株式会社JR西日本メンテック 人事部課長 福永 剛之さん

当社は、JR西日本のグループ会社として近畿2府4県と三重県で事業を展開しており、営業所数は42箇所、派出所等も含めると50を超える拠点を構えており、従業員数は約2,300名です。主な業務内容としては、JR西日本の駅・車両の清掃業務及び市中ビル、ホテル、病院等の清掃・室内整備業務、車両基地構内での車両入換業務を行っております。

2021年7月には、経営基盤の強化や業務効率化等を目的とした会社再編を実施しました。当社は福知山エリアの仲間を新たに迎え、高度な清掃技術・技能を活かした清掃オペレーションを核とした会社として新たな歩みを始めました。



■現場での体験実習の受入れ

2011年頃からC-STEP様へ大阪府内の支援学校等の窓口としてご支援いただくこととなり、実習生の受入れが活性化し始めました。歴任の当社人事担当の尽力もあり、今では大阪府下のみならず、滋賀、京都、兵庫の支援学校からも実習受入れのご依頼を多くいただくようになりました。コロナ禍以降、鉄道需要の減少に伴う業務量の変動等の影響により採用に至るケースは以前と比べ少なくなっているものの、職業体験をきっかけにして実際採用に繋がったケースもあり、現在は70名を超える方々が自身の特性に向き合いながらそれぞれの職場で活躍してくれています。

■障がいへの基本的理解の浸透に向けて

当社は障がいの有無に関わらず、準社員の採用については職場の需給状況の変動等を踏まえて各営業所等において必要の都度実施しているため、採用面接等を実施する現場管理者が障がいに関する基本的理解をもって適切に対応することが必要不可欠です。

これまで大阪労働局やハローワークから講師をお招きして障害者雇用に関する研修を実施してきましたが、人権尊重やCSR、ダイバーシティの推進など企業に求められる要求が日増しに高まる中、多様な人財が活躍できる企業を目指し、新任営業所長への社内研修や特別講師としてお招きしたオンライン講義の実施など、地道な取り組みを継続しています。

■清掃の意義や奥深さに触れていただくこと

技術革新によるロボット技術や先鋭的な作業手法の導入等により清掃に対する世間のイメージも変わりつつあります。清掃は比較的平易な作業もあり、多くの人財が活躍するチャンスがある裾野の広い分野である一方で、一歩踏み込むと匠の世界が広がっており、職業体験という機会を通じて清掃の意義や奥深さに触れていただくきっかけ作りには貢献できることは当社にとっても大変意義深く、喜ばしく思います。今後も障がい者雇用に関する関心を高めるとともに、多様な人財が生き生きと活躍できる職場づくりに向けて現場、支店、本社とが一体となり、取り組んでいきます。

—就職者の声—

大阪北エリア営業所勤務 宮島さん

C-STEPスキルアップ定期(10月期)コースを受講後、職場実習を経て2021年12月に就職

業務内容:JR大阪駅周辺の建物清掃業務 勤務時間:7:30～、9:00～のシフト制 7時間勤務 週5日

これまでに清掃業務の経験がなく、多くの人がいる場所が苦手だったので少し不安だったのですが、実習で業務内容と職場の雰囲気を知る機会をいただけ安心しました。現在はマスタースケジュール(業務作業指示書)を守ることを心がけて業務に取り組んでいます。シフトによってスケジュールが違い、まだまだ覚えなければいけないことがあるので、早く覚えられるように頑張っていきたいです。業務中に道を尋ねられるなど、社外の方から声をかけられることもあるのでスムーズに対応できるようになりたいと思っています。

～職場の方から～

- ・スタッフからの評価は高く、将来はぜひこの職場で上をめざしていただきたいと思います。(谷村所長)
- ・全てのシフトに入らせていただいておりますが、遅刻・欠勤なく真面目に頑張ってくれています。仕事を覚えるのがとても早く、入社してから短期で独り立ちされ感心しています。(永田副所長)
- ・報告、相談をしっかりと行ってくれるので、安心して仕事を任せられることができます。(三樹係長)



編集・発行

一般社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター (C-STEP)

〒540-0028 大阪市中央区常盤町1丁目3-8

中央大通 FNビル 14階

tel.06-6940-6600 fax.06-6910-6033

URL(ホームページ) <https://www.c-step.or.jp>